※令和３年度以前入学生用

学校番号	324

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新詳地理Ｂ（帝国書院）基本地図帳（二宮書店）						
副教材等	フォトグラフィア地理図説（とうほう）、新地理要点ノート（啓隆社） データブックオブザワールド（二宮書店） 2024 年入試ベストセレクション大学入学共通テスト地理 B 重要問題集（実教）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界を時間的･空間的観点から見るための知識と技能を学び、入試に対応した学習をします。
大学入試共通テストを念頭に学習を進めます。授業進度がとても速く、理解すべきこと、覚えるべき内容も多いです。新しい単元に入る際、授業で学ぶための「講義ガイド」を classroom にアップします。授業前に必ず読んだうえで教科書を通読してください。授業で学んだことは要点ノートで復習することで、その日学習したことはその日のうちに理解するよう努力してください。

2　学習の到達目標

さまざまな地図と地理的技能について理解し、読図能力を養う。
現代世界を系統地理的に把握することができる。
現代世界を地誌的に把握することが出来る。
現代社会の諸課題を地理的に考察するための知識･技能を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め,それを意欲的に追究し,国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見出し,それを系統地理的に考察したり,歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし,国際社会の変化を踏まえて公正に判断して,その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計,画像など、地域に関する諸資料を収集し,有用な情報を選択して,読み取ったり図表にまとめたりしている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し,その知識を身に付けている。
評価方法	授業プリント完成 作業プリント提出 小テスト 振り返りシート	定期考査 小テスト 作業プリント 授業での発表	定期考査 小テスト 作業プリント 授業での発表	定期考査 小テスト 作業プリント 授業での発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	さまざまな地図と地理的技能	・自然環境 ・資源と産業 ・人口、村落・都市 ・生活文化、民族・宗教	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:各単元に関する考察を基に,世界の自然環境,資源・産業,都市・村落に対する関心と課題意識を高め,それを意欲的に追究し,捉えようとしている。 b:各単元について,資源・産業の分布や人間生活との関わり,村落・都市の分布や動向,民族・宗教の分布と国家の関係,環境問題について多面的多角的に考察し,系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し,その過程や結果を適切に表現している。 c:各単元に関する諸資料を適切に収集し,収集した資料から有用な情報を選択し,読み取ったり図表等にまとめたりしている。 d:各単元について,その知識を身につけ、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し,その知識を身につけている。	定期考査 小テスト 作業プリント

※令和３年度以前入学生用

後期	現代世界の地誌的考察	・現代世界の地域区分 ・現代世界の諸地域 ・現代世界と日本	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:単元に関して,諸事象の分布や民族と国家の関係などに関する考察を基に,世界の生活文化,民族・宗教に対する関心と課題意識を高め,それを意欲的に追求し,捉えようとしている。 b:単元について,分布や民族と国家の関係などを多面的・多角的に考察し,その過程や結果を適切に表現している。 c:単元に関する諸資料を適切に収集し,資料から有用な情報を選択し,その情報を基に世界の生活文化,民族・宗教について読み取ったり,まとめたりしている。 d:当該単元について,系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し,その知識を身につけている。	定期考査 小テスト 作業プリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。